

日本大学大学院 総合社会情報研究科

入学説明会資料【2023年11月11日】

学びの特徴(7つのポイント)

在宅学修の
ノウハウ

徹底した
個別指導

生活スタイルに
合わせた指導

スクーリング
(必修科目)

都心の
キャンパス

サイバーゼミ

学生同士の
つながり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	<ul style="list-style-type: none"> ●履修登録指導(ゼミ) ●特別研究指導(ゼミ)4月以降随時 	<ul style="list-style-type: none"> ●スクーリング※ 				<ul style="list-style-type: none"> ●前期レポート提出期限 				<ul style="list-style-type: none"> ●最終レポート提出期限 		<ul style="list-style-type: none"> ●次年度履修登録
2年			<ul style="list-style-type: none"> ●論文題目の届出(1回目) 			<ul style="list-style-type: none"> ●前期レポート提出期限 	<ul style="list-style-type: none"> ●研究(中間)発表会 		<ul style="list-style-type: none"> ●論文題目の届出(最終) ●修士論文提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●最終レポート提出期限 ●学位の面接試験 		<ul style="list-style-type: none"> ●学位記伝達式

※感染症等の状況によりスクーリング日程・開講方法を変更する場合があります。

入学から修了までの2年間の学び

専攻の概略

【博士前期課程】

国際情報専攻

文化情報専攻

人間科学専攻

【博士後期課程】

総合社会情報専攻

（国際情報分野）

（文化情報分野）

（人間科学分野）

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/firstsemester/>

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/secondsemester/>

専攻・コース一覧・博士前期課程 (国際情報専攻・文化情報専攻)

専攻	コース	研究内容	
国際情報専攻 学位: 修士(国際情報)	経営・経済コース	経営学分野の基礎スキル(経営戦略, 組織運営, マーケティング, アカウンティング)を修得したうえで, ファミリービジネス, 地方創生, 国際分業, 経済開発などの幅広い視点から経営・経済分野に関する研究に取り組むことができます。	P09
	国際(関係)・政治コース	国内外の社会課題を的確に把握し, 解決に向けて主体的に取り組むための知識を修得します。国際関係, 国際政治や国内の地域活性化, 日本政治史などについて研究することができます。	P11
文化情報専攻 学位: 修士(文化情報)	文化研究コース	文学・演劇・映像・メディアなど, さまざまな文化について研究を深めます(西南中国民族, 日本古代文学, 日本近現代文学, 比較文学など)。また, 翻訳の理論と実践, 多様な文化間の情報伝達や相互理解についても学べます。	P15
	言語教育研究コース	言語学修・教育についての最新の理論を踏まえ, ICTを活用した言語指導・学修方法を学びます。研究領域は日本語教育学, 言語テスト, 英語教育学などがあります。	P17

専攻・コース一覧・博士前期課程 (人間科学専攻)

専攻	コース	研究内容	
人間科学専攻 学位:修士(人間科学)	哲学コース	社会哲学,ロジカル・シンキングや現象学を中心とする現代哲学の,主に20世紀以後の西洋現代哲学を研究します。人間の存在について十分な理解力を持った人材育成を目標としています。	P21
	心理学コース	産業・組織心理学の視点から公共社会や企業などで不公正,不公平感が及ぼす心理的影響や,自己と対人関係といった社会心理学を研究します。生活などの場で起こる問題を解決できる人材を育成します。	P22
	教育学コース	社会的に着目度の高い,現代の教育課題に対応できる人材を育成する,教育方法論,教育思想,教育心理学,学校教育学などを研究します。	P22
	医療・健康科学コース	ヒトの健康の向上に関して医療・福祉,生命科学の分野を研究します。健康で安全な生活を実現するための科学的な知識を身につけ,人々のQOLの向上を追究します。	—
	スポーツ科学コース	スポーツ運動学,スポーツ医学,スポーツ心理学,コーチングの視野からスポーツのより良いあり方を研究します。	P25

専攻・コース一覧・博士後期課程 (総合社会情報専攻・3つの分野)

分野	内容
国際情報分野	<p>この分野では、企業経営、国際経済・政治、地域活性化において必要とされる知識・学問を身に付けることができるように科目が配置されています。これまで取り扱われてきたテーマは社会全般を対象とした包括的なものが多く、グローバル化・情報化が進展する社会環境における諸問題に対処するように、学際的なアプローチを意識した研究が取り組まれています。具体的な研究には、社会問題研究(企業経営・産業振興・地域活性化)、国際地域研究(政治・外交・国際関係)などがあります。</p>
文化情報分野	<p>本分野では、社会と文化に関わる情報を的確に読み解き、好ましいグローバル・コミュニティの形成とグローバル市民の育成に寄与できる研究者、教育者、専門家を養成します。研究領域は、比較文学、翻訳論、言語教育学(日本語教育他)、第二言語習得論、文化人類学(東アジア)等であるが、いずれの領域であっても、学際的、超域的研究が推奨されます。学生と教員は多元的社会と多種多様な文化の理解を深め、文化の翻訳者として、また文化情報の受信・発信者としての能力を高めるべく、協働して研究に取り組めます。</p>
人間科学分野	<p>本分野では、人間存在の根本問題への理解と認識を推進することを教育研究の主眼としています。人間存在そのものが置かれている現代的な問題状況に関する学問的探究を学際的な立場から深化・発展させるように研究領域を大別し、人間存在と人間本性の根本的把握という課題に照準して科目配置を行っています。研究内容には、心理学、医療・健康、教育及び哲学・宗教があります。</p>

興味を持った分野 の 先生の探し方

研究指導教員の
紹介ページの見方

特別研究(ゼミ) 担任

1. 特別研究を開講している教員紹介の説明から、「専門分野」「特別研究の研究領域」を見て、自分の興味のある分野を研究している先生を探します。
2. その教員の「学術論文」「指導・研究における特色, プロフィール」を見て、どんな先生かを確認します。
3. 「特別研究の指導及び研究上のポイント」「特別研究の進め方」で、ゼミの運営スタイルや指導方法が、自分の学びたいこととフィーリングが合うかを確認します。
4. 気になったら、遠慮なくホームページ右上の「お問い合わせ」ボタンから、事前相談を申し込んでください

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/contact/>

ただし……

- 教員の専門性が必ずしも一致しない場合でも、あきらめることはありません。皆さんの研究に係る意識に基づき、一度、入学課に相談してみてください。相談に乗ってくれる教員を紹介してもらえらるはずですよ。
- 各教員の経験の幅は広く、資料に書かれている内容以外でも、皆さんの研究テーマに関する知見を持っています。
- 研究テーマへの取り組み方、研究アプローチの手法などについての有意義な助言が受けられるでしょう。
- 良い先生が見つかったら、遠慮することなく、「お問い合わせ」ボタンから、事前相談を申し込んでください

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/contact/>

入学試験日程 前期課程(修士) 第2期

- 入学試験;2024年2月4日(日)
 - 試験科目;英語(免除条件あり), 小論文, 口述試問
- 出願期間;2024年1月11日~1月24日
- 事前相談;必ず, 出願前に受けてください
 - 出願前に研究内容を特別研究指導教員と相談する
 - 仮に, 面談できない場合は, メール, 電話などでも構いません
 - 事前相談締切日;2024年1月17日
- 合格発表;2022年2月13日午後3時
- 入学手続き期間;2022年2月13日~2月22日

入学試験日程 前期課程(修士) 第3期

- 入学試験;2024年3月2日(土)
 - 試験科目;英語(免除条件あり), 小論文, 口述試問
- 出願期間;2024年2月15日~2月21日
- 事前相談;必ず, 出願前に受けてください
 - 出願前に研究内容を特別研究指導教員と相談する
 - 仮に, 面談できない場合は, メール, 電話などでも構いません
 - 事前相談締切日;2024年2月14日
- 合格発表;2024年3月8日午後3時
- 入学手続き期間;2024年3月8日~3月15日

入学試験日程 後期課程(博士)

- 入学試験;2024年2月17日(土)
 - 試験科目;英語, 小論文, 口述試問
- 出願期間;2024年1月25日~2月7日
- 事前相談;必ず, 出願前に受けてください
 - 出願前に研究内容を特別研究指導教員と相談する
 - 仮に, 面談できない場合は, メール, 電話などでも構いません
 - 事前相談締切日;2024年1月31日
- 合格発表;2024年2月26日午後3時
- 入学手続き期間;2024年2月26日~3月8日

募集人数

博士前期課程(定員90名)

- 第2期
 - 国際情報専攻 20名
 - 文化情報専攻 20名
 - 人間科学専攻 20名
- 第3期
 - 国際情報専攻 若干名
 - 文化情報専攻 若干名
 - 人間科学専攻 若干名

博士後期課程(定員9名)

- 総合社会情報専攻 9名

最後に

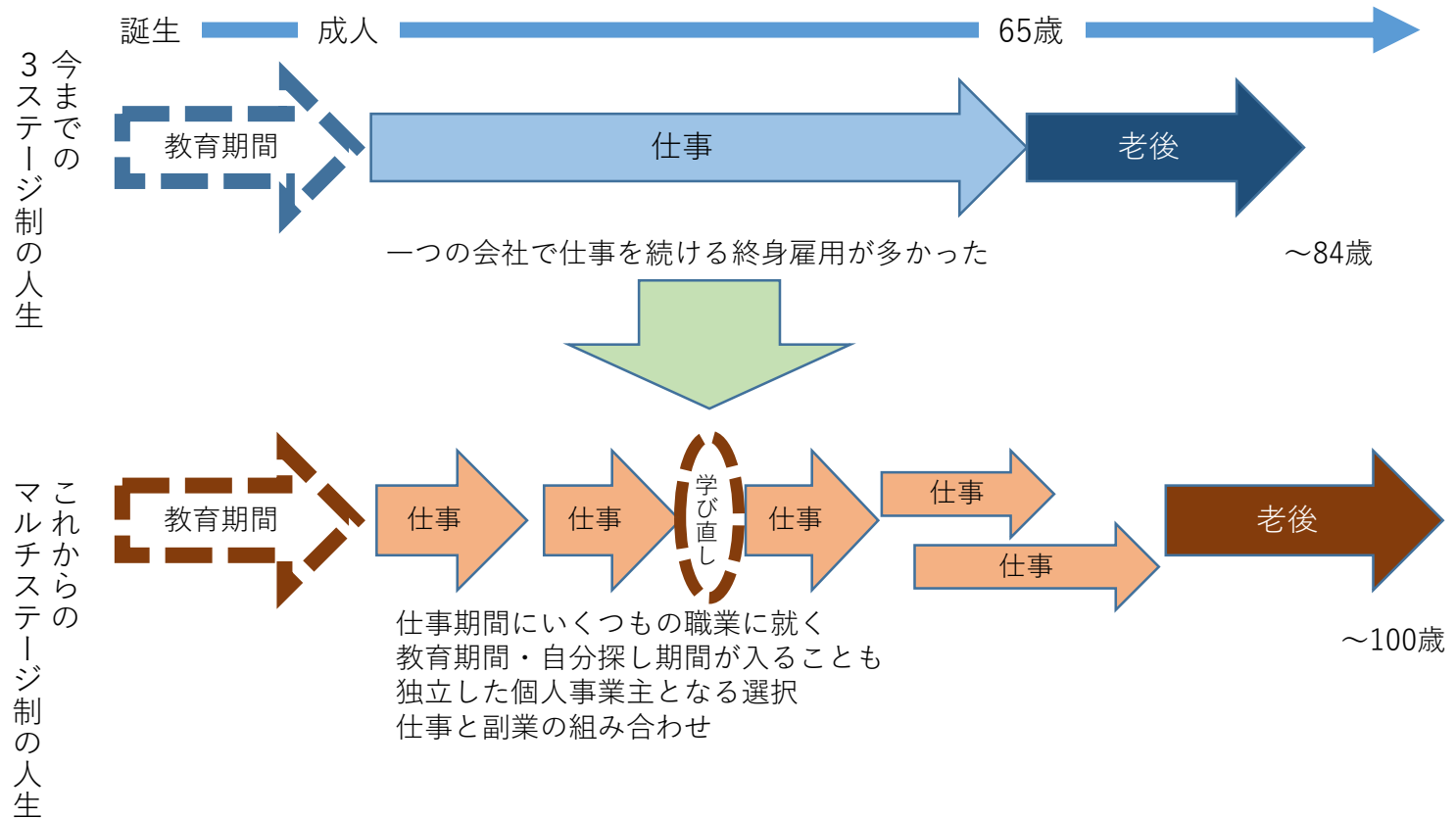
“LIFE SHIFT”（人生100年時代）

からのメッセージ

人生100年時代の 学び

- 人生100年時代の社会人人生は、65歳あるいは70歳までの50年近い期間となります。この社会人人生の間に、私たちはさまざまな技術進歩に直面し、仕事の仕方を大きく変える経験を9回～10回することになるでしょう
- 技術進歩により、どんどん仕事に必要な知識も変わります。大学時代に習得した知識だけでは変化についていけず、仕事が制限され、失業のリスクもあります。70歳まで現役で働くためには、的確な能力開発を不断に続ける必要があるのです
- 日本でも、リカレント教育、リスキル教育の重要性が語られるようになっていきます

人生100年時代の職業生活



2024年4月から一緒に
学ぶ仲間になることを
お待ちしております

A large red speech bubble graphic with a white outline, pointing downwards. The text is centered within the bubble. The background features faint, light gray curved lines and dashed lines.

入学相談会 参考資料

在宅学修 のノウハウ

- 1999年4月に日本で最初の通信制大学院として開設されました。コロナ禍以前より実践してきた遠隔教育のノウハウを活かして学修指導を行います
- 科目履修では、ポイントを押さえた教材を活用しつつ、レポート提出を介した「在宅学修」が基本です
- 研究論文の作成は、ネットとリアルを組み合わせ、ゼミ指導教員が「個別指導」します
- 仕事や家事などの時間に関わらず、自分の使うことができる時間を有効に活用して学修を深めていくことができます

徹底した 個別指導

- オンライン指導(メール, Web会議システム)あるいは, 対面指導(市ヶ谷キャンパス)の機会を活かして, 一人一人の関心の深さ, 個別に異なる修得レベルに合わせて, 細かく指導を受けることができます
- 特別研究(ゼミ)だけでなく科目履修でも, 学生一人一人のニーズ・レベルに応えた指導を実施します

生活スタイル に合わせた 指導

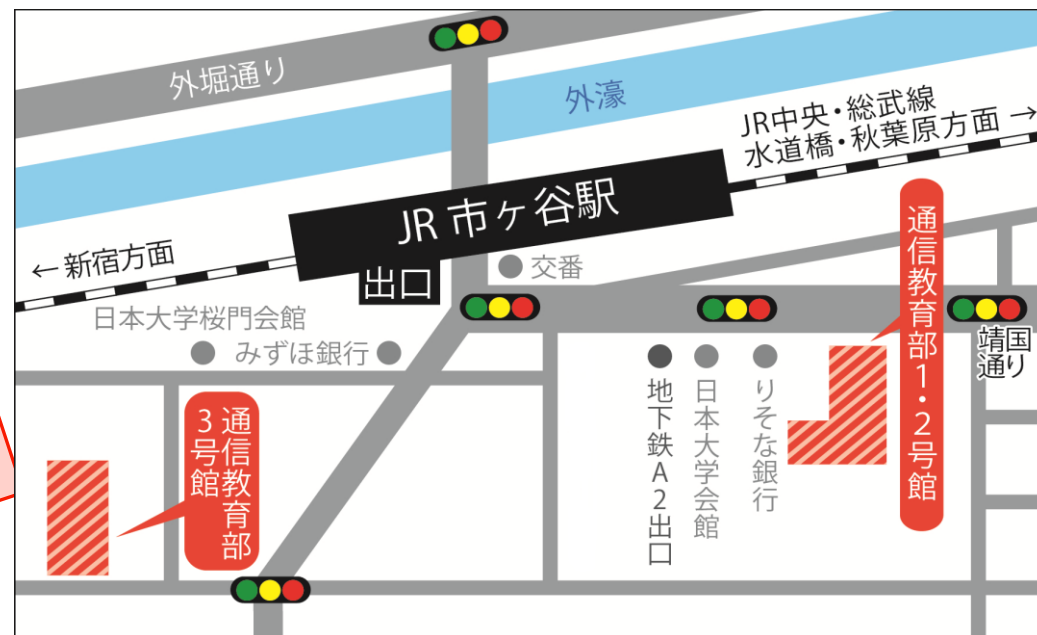
- 特別研究(ゼミ)では, 学生一人一人の事情に寄り添って指導を行います
- 生活スタイル, 生活リズムに合わせて, 学修ペースをリードして, 2年間で修士論文を書き上げ, 修了できるように指導します

スクーリング

- 修士課程では、2年間の間に一回、必修科目として、スクーリング(集中対面授業3日間)を受講します。2023年度は4月末から5月初のGW中に市ヶ谷にて対面で実施しました
- スクーリングは、15コマ相当となります
- スクーリングで学ぶことの一つは、修士としての研究の仕方、論文の書き方です。
- また、専攻分野の主な科目につき、受講して頂きます

都心の キャンパス

- 集合ゼミを行うときや、直接に教員の指導を受けたいときに利用する市ヶ谷のキャンパスはアクセスに便利です



サイバーゼミ

- 東京近郊在住以外でも，地方あるいは海外から，Web会議システム（主にZoom）を使って，ゼミに参加できます
- Web会議システムを利用することで，離れていても教員やゼミの仲間と学修を続けられます

学生同士の つながり

- 遠隔教育ですが、特別研究(ゼミ)の指導教員のほか、学生相互のつながりは深いです
- オンラインでの交流と、市ヶ谷で仲間と集うことを通じて交流が深まります
- また、大学院行事としてのオープン大学院を通じて、他専攻の学生とも交流できます
- いくつかのゼミは、夏休みに合宿を行い、ゼミ生同士の親睦を高めています

博士前期課程の 2年間で必要なこと

科目履修と修士論文

特別研究 (修士論文) の取り組み

- 研究テーマの提出と指導教員の決定
(事前相談)

....

- 「研究計画書」の作成・提出 (1年次前期)
- 「研究計画書」に基づき個人研究

....

- 「修士論文・草稿」の作成・提出
(中間発表前)
- 中間発表会(2年次の10月, 任意)
- 「最終稿(案)」作成
(2年次11月から12月)
- 「修士論文・最終稿」提出 (2年次12月)
- 面接試問(2年次1月)
- 学位授与(2年次3月)

学位(修士) 論文

- 大学院博士前期課程2年間を通じて修士論文を作成します
 - 論文を書くことは、本大学院入学の最大の目的であり、2年間を通じて最大の達成感が得られるものです
 - 特別研究(ゼミ)指導担当の教員と相談しながら、執筆テーマを絞り込み研究を行います

- 大学院での学びをイメージして頂けるように「在学生・修了生の声」を用意しています

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/voice/>

- そのほかにも電子マガジンには、先輩たちの学修の際の苦労話のほか、修士修了時の達成感などを書き連ねた**修士論文奮闘記**が掲載されています

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/e-magazine/>

先輩たちの
声を聞く

必修科目 (前期課程)

- 国際情報論特講/文化情報論特講/人間科学特講(4単位)
 - 市ヶ谷のスクーリングと在宅学修の組み合わせ(スクーリングについて)
 - 2020・2021年度はネット中心に運営
 - 2022年度は5月に市ヶ谷で実施する予定
- 特別研究(6単位)
 - ゼミ活動を通じて自分の興味を深める
 - 特別研究指導教員のもと、修士論文を作成

選択科目 (前期課程)

- 各専攻別に開講されている選択科目の中から、研究テーマに関連した科目を、**5科目(20単位)以上**履修して単位を獲得します
 - 1年間では必修科目のほかに4科目を選択して履修できます
 - 興味のある内容は、コースを跨いで履修登録できます
- 単位獲得までには、1年でレポートを4本提出する必要があります
 - 課題図書を通じて学んだ内容を、前期2本、後期2本のレポートにまとめて提出します
 - レポートの作成を通じて、科目の内容を理解できるように、教員からの個別指導を受けることができます
- 具体的にシラバスを見て、どのような科目があるか確認してみてください

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/firstsemester/>

総合社会情報専攻 (博士後期課程)

- 国際情報分野
 - 本分野では、国際人としての知識・学問を身につけるため、幅広い科目が配置されています。この分野は包括的なテーマが多く、グローバル化・情報化の進展とともに、マルチディシプリナリーな見地からの検討が必要であるため他分野とも関連づけて研究します。
 - 研究内容には国際経営(経営・産業)、国際経済(経済・金融)、国際地域研究(政治・外交・国際関係)があります。
- 文化情報分野
 - 本分野では、社会と文化に関わる情報を的確に読み解き、好ましいグローバル・コミュニティの形成とグローバル市民の育成に寄与できる研究者、教育者、専門家を養成します。
 - 研究領域は、比較文学、翻訳論、言語教育学(日本語教育他)、第二言語習得論、文化人類学(東アジア)等であるが、いずれの領域であっても、学際的、超域的研究が推奨されます。
 - 学生と教員は多元的社会と多種多様な文化の理解を深め、文化の翻訳者として、また文化情報の受信・発信者としての能力を高めるべく、協働して研究に取り組みます。
- 人間科学分野
 - 本分野では、人間存在の根本問題への理解と認識を推進することを教育研究の主眼としています。人間存在そのものが置かれている現代的な問題状況に関する学問的探究を学際的な立場から深化・発展させるように研究領域を大別し、人間存在と人間本性の根本的把握という課題に照準して科目配置を行っています。
 - 研究内容には、心理学、医療・健康、教育及び哲学・宗教があります。

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/syllabus4/>

出願の方法

<https://gssc.dld.nihon-u.ac.jp/guideline/>

出願に必要な書類など

【出願書類】

- ① 大学院入学志願票(①～③は、HPからダウンロードして使用してください)
- ② 履歴書
- ③ **研究計画書**; 所定用紙に横書きとし、1,000～1,200字で作成してください。(Microsoft Wordで横書き12ポイント30字×40行の設定、罫線に合わなくても可)。
- ④ 卒業証明書または卒業見込証明書(原本)
- ⑤ 成績証明書(原本)
 - 証明書と志願票の氏名が異なる場合は、戸籍等記載事項証明書または住民票を提出してください。
- ⑥ パスポートのコピー(外国籍志願者のみ)
- ⑦ 在留カード(旧外国人登録証明書カード)のコピー(外国籍志願者のみ)

【入学検定料】 35,000円

入学金＋学費 など

【博士前期】

- 2年で修了するときは、1年次100.5万円・2年次81.5万円
 - 日本大学卒業生は入学金(20万円)免除
 - その他にテキスト・パソコン, 交通費など
- 3年修了の長期履修学生制度もあります
 - 職業などの事情にあわせて, 最初から3年間かけて修了することを選択できます
 - 長期履修の申し込みは入学時に行います
 - 合計金額は2年で修了するときとほぼ同じ

【博士後期課程】

- 初年次96万円・2年次76万円・3年次77万円